千曲市議会だより

No.80
6・7月議会
令和3年8月1日発行

# みんなの議会




バスでのワクチン接種

（音声コード）

## 6月定例会
## 7月臨時会

議案審議結果……P 2
委員会報告……P 4
一般質問（個人）……P 7
市民と語る会……P 16

# 6月定例会（6月7日～6月24日）

## 令和３年度一般会計補正予算を可決

６月定例会では、令和３年度千曲市一般会計補正予算を含む15件の議案と、請願・陳情４件を審議しました。

その中でも、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活・企業支援対策経費が盛り込まれた一般会計補正予算（第１号）の専決処分や同補正予算（第２号）及び（第３号）など、新型コロナウイルスに関連した議案が提出され、全会一致で可決しました。

## 議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決・承認

| 議案番号 | 件　　名 | 結果 |
|---|---|---|
| 専決第２号 | 専決処分事項報告について（千曲市税条例等の一部を改正する条例） | ◎ |
| 専決第３号 | 専決処分事項報告について（千曲市都市計画税条例の一部を改正する条例） | ◎ |
| 専決第４号 | 専決処分事項報告について<br>（令和２年度千曲市一般会計補正予算（第11号）） | ◎ |
| 専決第５号 | 専決処分事項報告について<br>（令和３年度千曲市一般会計補正予算（第１号）） 注目！ | ◎ |
| 議案第36号 | 千曲市余熱利用施設条例制定について | ◎ |
| 議案第37号 | 地方税法第314条の７第１項第４号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を定める条例制定について | ◎ |
| 議案第38号 | 千曲衛生施設組合規約の一部を変更する規約制定について | ◎ |
| 議案第39号 | 令和３年度千曲市一般会計補正予算（第２号）の議定について | ◎ |
| 議案第40号 | 市道路線の認定について | ◎ |
| 議案第41号 | 訴えの提起について | ◎ |
| 議案第42号 | 令和３年度消防ポンプ自動車購入契約の締結について | ◎ |
| 議案第43号 | 令和３年度千曲市一般会計補正予算（第３号）の議定について | ◎ |
| 議会第４号 | 千曲市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について | ◎ |
| 議会第５号 | 千曲市議会会議規則の一部を改正する規則制定について | ◎ |
| 議会第６号 | 選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を求める意見書（案） | ◎ |



## 請願・陳情結果

| 番　号 | 請願・陳情の件名 | 請願・陳情者の氏名 | 結果 |
|---|---|---|---|
| 請願第２号 | 競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願 | 千曲市場外車券売場誘致に反対する市民の会<br>世話人代表　宮坂　　平 | 不採択 |
| 請願第３号 | 有機無農薬食材を生産する環境保全型農業の推進を求める請願 | 子ども達の明るい未来を創る会<br>会長　池田　靖子　外１名 | 趣旨採択 |
| 請願第４号 | 選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を求める意見書の提出を要望する請願 | 選択的夫婦別姓　陳情アクション信州<br>森田　久美子　外１名 | 採択 |
| 陳情第２号 | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情 | 長野県労働組合連合会<br>事務局長　茂原　宗一 | 趣旨採択 |

議案　…　15件　　請願・陳情　…　4件　　計　19件

賛否の分かれた議案等については市議会ホームページをご覧ください。

# 7月臨時会（7月6日）

## 副市長選任案を同意

７月臨時会では、副市長と固定資産評価員の選任についての２件の議案を審議しました。２議案ともに現在千曲市の参与で行政マネジメント室の室長を務めている大内保彦氏を選任する議案であり、ともに全会一致で同意しました。

## 議案審議結果

採決結果：◎全会一致で同意

| 議案番号 | 件　　名 | 結果 |
|---|---|---|
| 議案第44号 | 副市長の選任について | ◎ |
| 議案第45号 | 固定資産評価員の選任について | ◎ |

議案　…　２件



## 注目！

**専決第５号　令和３年度千曲市一般会計補正予算（第１号）**

**～千曲市推し店プラチナチケット事業について～**

新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが減少した千曲市内の事業者（店舗）に向けた新たな支援策で、消費者も事業者もお得な事業。１冊 5,000 円の「推し店プラチナチケット」を3,000 円で事業者が販売、2,000 円分を千曲市が補助金として事業者に交付します。詳しくは市ホームページをご覧ください。チケット販売･利用期間は、令和３年９月１日～12月31日。

## 討論

討論とは、本会議や委員会で議題となっている案件について、採決をする前に、議員個人として賛成・反対の意見を表明することをいいます。

請願第２号

### ○競輪場外車券売り場について　経済産業省に許可をしないよう求める請願

**賛成**　前田　きみ子　議員

経済産業省の公表では、競輪の売り上げは、'91年には１兆９０００億円、'16年には６３００億円で25年間の間に３分の１に売り上げが落ち込んでいる。インターネットによる購買比率は'91年には４・８％、'19年には38・１％でネットでの購入が上昇している。八幡地区には、国の名勝、重要文化的景観指定の姨捨棚田があり、自然環境に恵まれた場所で、昨年６月には姨捨棚田を中心に周辺文化財群が日本遺産に認定された。

長野県には競輪の競技場も券を売る発券場もなく、県内に計画があったギャンブル施設を先人たちが計画を断念させてきた経緯がある。一旦許可されてしまうと競馬も競艇もオートレースも県下最初の一大ギャンブル場に千曲市がなりかねない。

**賛成**　小玉　新市　議員

本請願に対し継続審査までしていただき感謝する。委員会へ参考人として関係者が出席できず残念だが、提出書類から判断すると地区の総会ではなく業者等から説明があり、三役等で協議し、同意書を提出している。また説明された方は場外車券場を運営する「信州ちくま」の役員でなく、説明した時期に「信州ちくま」は成立していない。また以前の請願の時も、市が要求した市民全体を対象とした説明会に応じてもらえず、今回の請願の審査にも出席していない。どのような会社なのか説明がなく分からない。長野県にはギャンブル施設がない。もし設置されるなら千曲市が最初となってしまう。関係地区も千曲市も長野県も共にギャンブル施設でよくなるとは思えない。

# 委員会報告

６月定例会で市から提案された議案については、各常任委員会へ付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果は次のとおりです。

## ◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆

委員会開催日：６月 17 日
議案３件の審査と所管事項調査

○議案第 37 号　地方税法第 314 条の７第１項第４号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を定める条例制定について

**問　クラウドファンディングは対象になるのか**

答　NPO 法人への活動を支援する寄附金については、税控除ができると定めたもの。クラウドファンディングは対象にならない

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○議案第 39 号　令和３年度千曲市一般会計補正予算（第２号）の議定について

**問　地方債補正の地域鉄道対策事業債が充当される内容は**

答　しなの鉄道車両更新負担金に充てられる

**問　消防費の中の消防施設管理事業費100万円の使い道について、要領等は決められているのか**

答　消防団が地域の防災活動整備に使うものという定めがある。今回は、トランシーバーやＬＥＤライト等を購入する

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定



## ◆◆ 建設経済常任委員会 ◆◆

委員会開催日：６月 21 日
議案２件、請願１件、陳情１件の審査と所管事項調査

○議案第 39 号　令和３年度千曲市一般会計補正予算（第２号）の議定について

**問　ワイン振興事業費の4,000万円はワイナリー建設補助金とあるが、補助対象は１件に対してか。今後も建設希望があれば補助金を導入するのか**

答　この予算はワイナリー建設１件に対する国庫補助である。今後も意欲的な農家に対しては、国の優位な補助金を導入して支援していきたい

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○議案第 40 号　市道路線の認定について

**問　３月議会で採択された請願の路線よりも区間が延び、屋代地区開発エリアまで架かっているが、計画を変更したのか**

答　屋代中学校の生徒を安全に通学させたい、との地域の強い要望があり区間を延長し、当初の700mを940mに変更した。屋代地区開発との整合を図って整備したい

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○請願第３号　有機無農薬食材を生産する環境保全型農業の推進を求める請願

【討論】

趣旨採択　環境保全型農業を推進し、子供たちに安全安心な食材を提供しようとの趣旨には賛同するが、現時点で有機無農薬食材を給食に使用することは物理的に困難

【採決結果】
全会一致で趣旨採択すべきものと決定

なお、各課報告において所管課より屋代地区開発事業に係る見直しに向けた検証についての説明を受けた

## ◆◆ 福祉環境常任委員会 ◆◆

委員会開催日：６月 18 日
議案５件、請願１件の審査と所管事項調査

○議案第 39 号　令和３年度千曲市一般会計補正予算（第２号）の議定について

**問　温泉施設管理運営事業費工事請負費222万8,000円の内容は**

答　白鳥園の洗い場の木板 46 カ所を御影石に取り替える工事と、厨房の床の改修工事

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○議案第 43 号　令和３年度千曲市一般会計補正予算（第３号）の議定について

**問　新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業の対象者と内容は**

答　総合支援資金の再貸付が終了した世帯や再貸付が不承認となった世帯などで一定の要件を満たす方が対象となる。単身世帯は６万円、２人世帯は８万円、３人以上世帯は10万円を各３カ月支給するため 150 世帯分を予算化した

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○請願第４号　選択的夫婦別姓制度の法制化について議論を求める意見書の提出を要望する請願

【採決結果】
賛成多数で採択すべきものと決定

※閉会中の継続審査案件（５月 17 日）

○請願第２号　競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願

【採決結果】
賛成少数で不採択すべきものと決定

# 一般質問（個人）

16名が市政を問う！

| 日程 | 掲載頁 | 氏　名 | 通　告　事　項 |
|---|---|---|---|
| 6月14日(月) | 8 | 袖山　廣雄<br>（新政クラブ） | 1　ひとづくり政策について<br>2　森林の活性化について |
| | 8 | 中村　恒彦<br>（日本共産党千曲市議団） | 1　学校施設整備について<br>2　戸倉上山田地区の地域活性化について<br>3　農家の支援について |
| | 9 | 吉池　明彦<br>（一志会） | 1　「復興計画」の「安全・安心なまちづくり」事業について<br>2　コロナ禍の小規模事業者及び生活困窮者への支援について<br>3　「環境対策及びＳＤＧｓ対応」への取組みについて |
| | 9 | 柳澤　眞由美<br>（公明党） | 1　「心穏やかに暮らせる千曲市」の第三次総合計画策定に向けて<br>2　「姨捨スマートIC」の整備による良好な都市基盤について |
| | 10 | 小玉　新市<br>（一志会） | 1　上山田戸倉市民窓口設置について |
| | 10 | 前田　きみ子<br>（日本共産党千曲市議団） | 1　防災について<br>2　コロナ禍における子どもの貧困について<br>3　介護保険について |
| 6月15日(火) | 11 | 中村　眞一<br>（新政クラブ） | 1　地域防災計画について<br>2　屋代地区大規模開発について |
| | 11 | 宮下　繁明<br>（一志会） | 1　新型コロナウイルス禍の地域経済への影響について<br>2　上山田戸倉市民窓口の充実について<br>3　屋代地区開発計画について<br>4　第三次総合計画について |
| | 12 | 川嶋　敬信<br>（一志会） | 1　千曲市の各種計画について<br>2　協働によるまちづくりについて |
| | 12 | 飯島　　孝<br>（千風の会） | 1　日本遺産について<br>2　ひとの育成について |
| | 13 | 聖澤　多貴雄<br>（千風の会） | 1　千曲市における災害対策（信濃川水系緊急治水対策プロジェクト）について<br>2　高校再編について |
| 6月16日(水) | 13 | 林　慶太郎<br>（自由民主クラブ） | 1　副市長について<br>2　あんずの里観光会館について<br>3　防災について |
| | 14 | 田中　秀樹<br>（無会派） | 1　千曲市の人事について<br>2　千曲市と企業・大学などとのパートナーシップについて<br>3　地域における男女共同参画について |
| | 14 | 金井　文彦<br>（千風の会） | 1　千曲市の新たな将来像と市長のリーダーシップについて |
| | 15 | 滝沢　清人<br>（公明党） | 1　奨学金返済「肩代わり」、地元で活躍する若者を応援すべき<br>2　新防災ガイドブックで市民に伝えたいこと |
| | 15 | 倉島　さやか<br>（無会派） | 1　千曲市の経済成長戦略について<br>2　デジタル・ディバイドの解消、対策について |



# 議員活動

コロナ禍により、現在視察等を自粛しております。

## 総合計画及び創生戦略に関する特別委員会研修会

5/20 総合計画策定における議会の関わり方について、大正大学社会共生学部公共政策学科 江藤俊昭教授による研修と、7/1 財政分析と総合計画について、関西学院大学人間福祉学部人間福祉研究科　小西砂千夫教授による研修をオンラインにより開催しました。



## 6/2　新型コロナウイルスワクチン接種に関する提言書の提出

各議員に市民から寄せられた意見や個々の議員の調査などによる提案等を議会の提言書として取りまとめ、正副議長と福祉環境常任委員会の正副委員長より市長へ提出しました。



## タブレット議会がはじまりました





袖山　廣雄

## 「ひとづくり」政策を第三次総合計画に

**問　遊びや体験から、子どもの生きる力を養い、※非認知能力を高めるための総合体験施策の充実推進策は。**

**答**　森林・農業・火育・食育など自然を教育資源と捉えた子ども達の育成は、重要な要素と考え進めている。

**問　「さらしなの里古代体験パーク」を拡充し農地や半森林を整備し、子ども達が自力で行け、身近で遊びや体験のできる場として、子どもを育む風土のある同地に総合体験施設を増設して欲しいが。**

**答**　自然との融合が大切な事は同感である。同パークは縄文時代の文化や生活を見学できるほか、火おこし体験など生きる力を育むメニューを用意している。施設拡充には用地、財源など様々な課題がある。

**問　現在職員が常駐しており、親の手を離れて子ども達を遠巻きに見守れる。また同地にインストラクターを配置し、子ども会・育成会・学校関係者の自然体験、キャンプ、有機農法などの相談に対応する市独自の政策を望むが。**

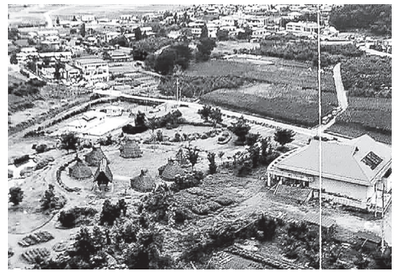
**答**　生涯学習課で対応している。活動する団体からの要望により、関係部局で連携し支援をする。

**問　大池市民の森の利用拡充は。アスレチック遊具の現状は。**

**答**　体験施設として、子ども達への投資・ＳＤＧｓの観点からも進める。アスレチック施設は、原状回復に努める。本年より、水辺のふれ合い場を設営する。

**問　材木の需要が高まっている。森林に手を入れるチャンスでは。**

**答**　森林の多くが伐期であり、搬出の好期と捉え森林整備、振興を促進する。



▲子どもが自由に遊びを工夫出来る場として活用したい「さらしなの里古代体験パーク」

※非認知能力…子どもの将来や人生を豊かにする一連の能力、諦めずやり抜く力・友達と協力する力など。



中村　恒彦

## 千曲市内小中学校にエレベーター設置を

**問　国連で、障害のある子どもと障害のない子どもがともに教育を受けることで、「共生社会」を実現する考え方が示され、バリアフリー法でも学校への整備の努力義務が課せられている。市内小中学校にはエレベーターが設置されている学校がない。体の不自由な児童生徒が、通常の学校で学びたいと希望しても、実現は厳しい。また、市内の小中学校は、災害時は指定避難所であり、エレベーター設置が望まれる。上田市や長野市では設置率が30％を超えている。千曲市の今後のエレベーター等の設置予定は。**

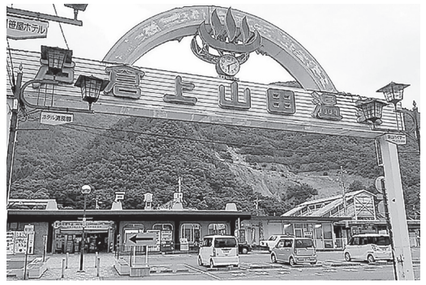
**答**　現時点では、設置の予定はないが、将来的には各学校・児童生徒の状況により対応していく。戸倉上山田中学校改築の際は、将来に備えエレベーターの設置スペースを設けてある。

**問　今まで、戸倉駅へのエレベーターの設置、駅周辺の賑わい確保や活性化、駅舎の改築、駅の移設や駅名の変更、東口の設置、駅東側の道路整備、国道から戸倉駅の間の県道に歩道設置などの要望もあった。どこまで具体化しているか。進めるには市長のイニシアチブのもとに推進チーム等を庁内に作るべきと思うが。**

**答**　エレベーターのめどは立ったが、他は具体化していない。鉄道駅のサイクリング拠点化や日本遺産事業とあわせ、しなの鉄道と協力して活性化に繋げていく。

**【その他の質問】**

○台風・降雹、凍霜害等で被害を受けた農家に支援を



▲戸倉駅周辺の活性化を







吉池　明彦

## 治水対策万全か、再エネ・脱プラ推進を

**問　復興計画の流域治水対策の進捗は。**

**答**　内水氾濫を防ぐため、浚渫（しゅんせつ）作業が必要な場合は、要望により支援・対応する。排水機場、幹線水路、支川水路等は、水位監視システムや水位計にて、Ｗｅｂ情報共有を可能とした。「防災重点ため池」20カ所は監視システムを順次設置中で、管理者との協議は今後詰める。

**問　災害対応力強化（公助）の進捗は。**

**答**　必要な施設・世帯には、戸別受信機を配備済み。職員・幹部の育成を推進し安全安心を確保する。災害時の協定は各種団体・企業等44件が締結済。水門の自動管理システムは研究中。

**問　国は温暖化対策で、再エネを自治体にも強く要請する。発電事業者約１０００社には、自治体も多く含まれる。今後、再エネを稼ぐ種とすべき。**

**答**　市が主体の新たな発電事業は、現時点では難しい。今後の新たな国の施策等を注視し、先ずは新規の公共施設や事業者への再エネ普及を推進する。

**問　温暖化対策推進計画の温室効果ガスＣＯ₂削減の進捗は。**

**答**　目標年２０２５年20％に対し、環境省の公表値は、２０１８年度実績で17・９％である。更に推進する。

**問　プラごみが海へ流出し、人への影響も深刻である。プラごみ削減・廃止を徹底し、「モデルタウン」の宣言を。**

**答**　容器包装リサイクル法から分別収集を徹底し、市民意識も高い。今後の一括回収になる機会に宣言も検討する。

**【その他の質問】**

○小規模事業者へ雇用創出補助金を

○生活困窮者へ生活必需品を




▲「私は、忘れない！
あの台風19号！　先ずは自助！」



柳澤　眞由美

## 「環境先進都市」花と緑豊かな千曲市へ

**問　「心穏やかに暮らせるまち」温暖化に配慮したまちづくりとは。ゼロカーボン社会の具体的な姿・数値目標、気候非常事態宣言への思い、そして持続可能な社会について市長の所見は。**

**答**　これまでの温暖化対策として、新庁舎や市内防犯灯のＬＥＤ化の実施、雨水貯留施設設置補助制度を推進。本年度は蓄電システム設置補助制度を導入。温室効果ガス排出量は、２０１８年度17・９％の削減と年々環境への意識は高まりつつある。ゼロカーボン社会の推進では、都市公園38カ所の照明灯をＬＥＤ化し、温室効果ガスと電気料削減を図る。脱炭素社会実現へ上田市やしなの鉄道と連携し、シェアサイクルの社会実験を７月１日から実施、環境に配慮したまちづくりを進める。引き続き温暖化対策について情報を発信し、再生エネルギーの導入、※３Ｒによるごみ減量、森林の適正管理等実施可能な事業導入について研究していく。２０３０年度に温室効果ガス削減の中間目標の設定が必要と考えている。県下市町村の状況を勘案し研究する。

**問　既存公共施設のゼロエネルギービル化、治田・屋代・埴生・上山田４小学校の内窓導入、戸上中の太陽光発電設置等で省エネに取り組むべきでは。**

**答**　あんずホールの※ＺＥＢ化及び学校の内窓設置、再生エネルギー導入の提案は、貴重な意見と受けとめ、公共施設個別施設計画の中で検討する。

**問　緑あふれる環境先進都市へ所見は。**

**答**　市民・事業者・行政の協働で緑化の推進を図ることが重要と考える。



▲花や緑あふれる千曲市へ
「まちの玄関を花いっぱいでおもてなし」
（姨捨サービスエリア）

※ＺＥＢ（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）…快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物　※３Ｒ…Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）３つのＲ総称



小玉　新市

## 上山田戸倉市民窓口設置について

**問　「市役所の位置を定める条例について」どのように解釈しているか。**

答　本条例の規定のとおり千曲市の市役所は「千曲市杭瀬下２丁目１番地」の一カ所であってこれ以外に庁舎はないと解釈している。

**問　旧戸倉・上山田庁舎には市民窓口など設置はしないこととなっていたが旧上山田庁舎に何故設置できたのか。**

答　社会情勢や市民ニーズが変化しておりそれに応じた施策を推進することが行政の使命と考える。市長の公約であること、地元から強い要望があったことなどが要因である。「市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定」では３旧庁舎の行政機能は失ったが旧上山田庁舎を「歴史文化財センター上山田分室」に、旧戸倉庁舎を「ふれあい福祉センター」とする行政機能を設けることから正しいと言える。

**問　なぜ市民課分室なのか。**

答　市民窓口係を設置している施設は「市民課分室」ではなく「歴史文化財センター上山田分室」である。この係では簡易的な市民課業務等の一部を行っているだけで今のところ支所、出張所の位置付けはしていない。

**問　出先機関のため条例で定めなければならないのでは。**

答　現時点ではこの係の位置、名称、所管区域を条例で定めていない。今後戸倉上山田地域における市民の皆さんの行政サービスに対するニーズを把握、検証し、支所又は出張所としての位置づけが必要となった場合は、市議会に説明し理解をいただいたうえで条例改正案を上程したいと考える。



▲「設置等を定める条例制定」が必要と考える上山田戸倉市民窓口係



前田　きみ子

## 福祉避難所は子ども医療費完全無料化を

**問　災害時要支援者名簿は、地区の民生委員さんなどのお力で作成されているが、いざ災害避難時には「絵に描いた餅」にならないよう講習会や、研修会など、地区の意識向上が必要だが。**

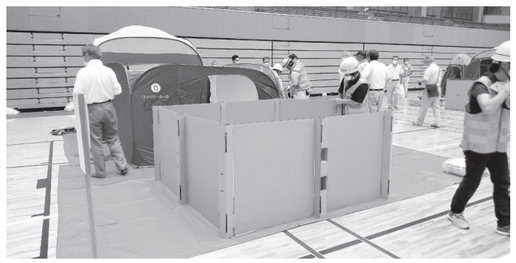
答　同意を得られた名簿を自治会、民生委員へ渡している。名簿が「絵に描いた餅」にならないよう日頃の地域コミュニティの向上や声掛けなど良好な関係作りが有効であると認識している。

**問　大規模災害時に要配慮者が過ごす「福祉避難所」に一般住民が殺到しないよう高齢者や障がい者、妊産婦の受け入れ対象を市町村が決め、事前に住民に知らせる制度が新たにできた。千曲市の対応は。**

答　本年５月に内閣府は「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を改定した。「福祉避難所を指定した場合公示すること」「避難が必要になった際に福祉避難所へ直接の避難を促進すること」とし、千曲市福祉避難所マニュアルを改正し周知する。

**問　コロナ禍における子どもの貧困がある。「福祉医療を進める会」会長の小児科医和田浩医師は、①貧しい層の所得のみが減少し格差が深刻。②低所得層の子どもの健康状態が一層悪化している。③虫歯のある子どもは一般家庭12％、困窮家庭22・8％であると述べている。千曲市も医療費完全無料化と、18歳までの拡大を。**

答　医療費による経済負担の軽減が必要な対象者を優先的に検討していきたい。



▲2020年、ことぶきアリーナでの市避難所設営訓練



※個人質問の文章は答を含め質問者の責任で作成しています。



中村　眞一

## 市民の安心、安全を守る地域防災計画は

**問　本年４月に「防災ガイドブック」を改定、配布したが改良、変更点は。**

答　「洪水、土砂災害マップ」でのこれまでの１００年に１回の大雨により、千曲川等が氾濫した場合の浸水深から、１０００年に１回によるものに改めた。また災害レベル別に住民の取るべき行動を明確にした。特にレベル４は「避難指示」に一本化した。そして、「マイタイムライン」のシートを掲載したので皆さんで作成して欲しい。

**問　「災害時要支援者」への対策は。本市も平成27年から「名簿」を作成しているが、毎年改定と「個別避難計画」の作成はできているか。**

答　本年も７月より各区長、自治会長対象に説明会を実施し、改定作業を進めていく。また、要支援者と地域支援者にチラシ等を配布し、連携等を確認している。

**問　避難所の開設、運営マニュアルの作成はできているか。**

答　市内13小中学校や公共施設を中心にした避難所の開設により、約１万２０００人収容可能である。また運営マニュアルは昨年作成しホームページに公開している。

**問　市長に提言をするが、各種災害や感染症対策として専門の「防災監理官」等の設置はいかがか。**

答　市民の安心、安全を目に見える形にしたいと訴えてきたので、組織改編等で危機管理部門の創設も研究しており、専門的な知識のある職員の配置等も前向きに検討したい。




▶防災ガイドブック



宮下　繁明

## 上山田窓口の充実を屋代の開発計画は

**問　４月１日から市民窓口が開設され多くの市民に利用されているが、機能が不足している。市民サービスを充実させるため機能を増やしたり「リモート」等を活用する検討はしているか。**

答　市民から要望のある業務を都度検討しており、届出は増えている。今後も実施可能な業務を検討していく。「リモート」等は引き続き研究する。

**問　屋代地区の開発計画は始めから「イオンありき」ではなかったのか。市が発注した調査報告書はなぜ議会や市民に開示されないのか。「産業連携道路ネットワーク構想」はいつ誰が決めたのか。地権者へは「事業費」や「減歩率」を説明しているのか。将来の財源涵養策としているが「新たなまちづくり」で事業費や税収はいくらを見込むのか。「一重山２号線」は企業側の要望で４車線にしたと聞くが「大型商業施設」が見直された今、道路建設についても立ち止まるべきではないか。**

答　市は結果として企業誘致の自治体間競争に遅れをとったため従来の「大型商業施設ありき」の開発方針を見直し「新たなまちづくり」に転換した。地権者に不利益を与える懸念があるため報告書は提出しなかった。「ネットワーク構想」は昨年９月に前市長によって決定された。「事業費」や「減歩率」は準備会役員の判断で地権者へは説明していない。開発の総事業費や税収については準備会からの「まちづくり提案」を待ってから新たに試算し開示する。「一重山２号線」の車線数については過剰な投資にならないよう将来交通量などの根拠に基づいて判断してゆく。




▶４月１日から開設された「上山田戸倉市民窓口係」



川嶋　敬信

## 千曲市の各種計画について

**問**　**第三次総合計画を作るに当たり、どのような手法で立案するのか。「これぞわがまち千曲市だ」と思えるようなビジョンが必要では。総合計画の下に位置する各種計画が多すぎるので、整理縮小できないか。**

**答**　現在、第二次総合計画の検証作業及び市民意識調査の集計作業を行っている。今後、ワークショップや審議会、市議会特別委員会などの意見を踏まえ素案を作り、パブリックコメント、市民説明会を開催し、さらに審議会で審議。２月頃に計画案を答申し市議会３月定例会に議案を上程する。ビジョンについては市民と共に目指すもので、わかりやすさ、覚えやすさ、千曲市が目指すものとなるよう皆さんのご意見をいただき検討する。現在、総合計画のほかに63の個別計画があるが、順次整理していく。

**問**　**３月議会において、屋代地区土地開発は民間の事業であること、一重山２号線は都市計画道路一重山線へ組み入れる事業で今年度着工することが決まった。今後は整合性のとれた対応を求める。**

**答**　重点的に整備する幹線道路については主要施策として位置付ける。屋代地区の開発が民間開発であっても、まちづくりの方向性や土地利用の在り方などの基本的な方針が合致していれば、市としても支援する。

**問**　**４月に新設された行政マネジメント室はどのような業務をしているか。**

**答**　第１回マネジメント戦略会議を実施した。この会議では各課で進める事業について改善すべき点や今後のスケジュールの協議を行った。会議で指摘された事項等の進捗等の管理をする。



▲田植えの済んだ姨捨からの千曲市街



飯島　孝

## 今後の取り組みはみんなの手で

**問**　**日本遺産の認定により、バスツアーやお月見が中心の催しなどは考えているか。イベントの情報はどう知らせていくのか。観光ガイドの養成は、民間との連携はどうするのか伺う。**

**答**　バスツアーは上田市と連携して計画する。観光局主催の「信州さらしな・おばすて観月祭」や、さらしなルネサンスなどの団体がイベントを予定している。コロナ収束後を見据え「日本遺産周遊モニターツアー」や旅行商品の造成を図っていく。また「日本遺産認定記念講演会」として、10月末に宇宙飛行士による講演会の開催に向けて調整中である。ホームページや地域団体の方々に協力いただき、さまざまな情報発信をしている。観光ガイドの養成は「養成講座」を開催。民間との連携は、しなの鉄道や上田市と協議していきたい。

**問**　**県内の不登校児童が調査開始以来最も多くなった。不登校に対する支援、専門教員の配置、市内の実情、課題、その効果について伺う。**

**答**　中間教室を設置しての支援や、対策委員会を開き未然に防ぐ取り組みをしている。体制として適応指導員、教育相談員等を配置している。不登校の市内の実情は、小学生36人、中学生64人。課題としては不登校の子が中学を卒業した後の実態が追えなくなってしまうこと。現在進めている施策の効果を数字で表すことは難しいが、学校、教育相談員、スクールカウンセラーと連携を取りながら状況把握に努めていく。



▲月にまつわる文化財 29 の一つ“姨捨の棚田”







聖澤　多貴雄

## 高校再編待ったなしの方向選択

**問**　**屋代南高校存続の方針を問う。**

**現在に至るまで「ライフデザイン科を普通科に併置した多部制・単位制高校」として要望してきた。県下に４校、北信地域にはまだ無い多部制・単位制高校を求めることは、幾度となく訪れる再編の対象からはずれ、将来的にも状況に左右されない存在になる。総合技術高校や総合学科は定員割れが起きやすく不安定。将来の第３期高校再編の対象になりやすい。加えて、総合技術高校には普通科が存在しない。千曲市内の普通科志望の生徒の選択肢を奪うことになる。こういう経緯の中で、屋代南高校を総合技術高校で運営する案が浮上してきた。これは分校化や将来の校名変更（廃校）にもつながる内容を含むことであり慎重な議論が求められるが、地域協議会において強く多部制・単位制高校の設置を求めたにもかかわらず総合技術高校転換が決定事項であるのか。「屋代南高校を発展させる会」の会長でもある市長の見解を伺う。**

**答**　総合技術高校と結論をだしたわけではない。地域協議会では多様な生徒の学びを確保する観点から多部制・単位制高校が必要であることを強く要望したが、平成30年請願陳情した案のままでは得策ではない。旧第４通学区全体の高校再編の動向を見据え、地域や時代のニーズに応える魅力ある新しい専門的な学びも重要視し、屋代南高校がどのような形に転換しても、地域に密着した学びを展開してきたこれまでの実績が活かせる道筋を模索していきたいと考えている。



▲屋代南高校



林　慶太郎

## あんずの里振興と総合防災訓練について

**問**　**副市長について、今後の副市長人事に関する市長の考えは。**

**答**　山積する市政の課題にスピード感をもって取り組むために、できるだけ早い段階で議会に提案したい。

**問**　**あんずの里観光会館の個別施設計画について、進捗とスケジュールは。**

**答**　本年度中に地元説明会を開催し、令和４年度より要望等に対する回答及び了解を得て、耐震診断等の対応を行い令和10年３月末日までに地元譲渡を行う予定。

**問**　**あんずの里振興の拠点である当施設の地元譲渡は、地元の観光振興への意欲を低下させる心配がある。観光機能が弱い、限定的であるから譲渡ではなく、弱いからこそ強く、発展させていくべきでは。**

**答**　「あんずまつり」開催期間中の重要施設であると認識している。また、森地区にはスケッチパークをはじめとした様々な観光施設があり、各施設の機能を総合的に見た中で、会館の持つべき姿を協議し、観光機能の充実を図りたい。

**問**　**総合防災訓練が昨年に続き中止となったが、防災ガイドブックの配布などにより、防災意識が高まっている今だからこそ、規模を縮小してでも開催するべきでは。**

**答**　新型コロナウイルス感染症の状況を考え中止とした。なお、各区・自治会における避難・防災訓練について、感染予防対策をしたうえでの開催は構わない。訓練への市職員の派遣も、要望があれば行いたい。



▲あんずの里振興の拠点「あんずの里観光会館」



田中　秀樹

# 連携協定と災害協定
# 地域の男女共同参画

**問　本年4月より、長野県東京事務所に職員を派遣した目的は。**

**答**　主な目的は千曲市の宣伝や市への企業誘致。今後も国・県・広域連合等に職員を派遣することで、有益な情報の収集、人脈作りなど長期的な視野に立った人材の投資を行っていく。

**問　コロナ禍のような有事における市の人事の考え方について伺う。**

**答**　職員総動員の体制をとり、業務量等の状況を見ながら適宜適切な職員配置を行っていく。

**問　市が企業や大学、地方自治体などと締結している連携協定、災害支援協定について、現在までの状況を伺う。**

**答**　現在、市では66の連携協定、44の災害支援協定を締結している。締結後の取り組みの例として、大学との連携では、学生によるあんずの収穫・加工体験や市内の食品工場の見学などを、金融機関との連携では企業向けの各種セミナーを実施している。

　災害支援協定では、令和元年東日本台風の際に物資支援や応急対策、被害認定調査への協力をいただいた。平時においても、防災訓練に参加いただき、支援物資の配送訓練や訓練参加者への非常食などの提供をいただいている。

**問　区・自治会など地域における男女共同参画をどのように推進するか。**

**答**　第4次千曲市男女共同参画計画では、意識改革を中心に取り組む。男女共同参画セミナー等を通した学習や啓発により、地域における性別に基づく役割分担意識の解消、リーダーとなる人材の育成を行っていく。




▶新たに策定された第4次千曲市男女共同参画計画



金井　文彦

# 新たな将来像と
# 市長のリーダーシップ

**問　市長自身がリーダーシップを発揮し職員の意識を変えると明言してきたが、就任半年、現状認識を伺う。**

**答**　ワクチン接種会場での職員の応対に市民からお褒めの言葉をいただくなど、市民目線で市民に寄り添った接遇、対応が浸透しつつあると感じている。

**問　老朽化が著しい上、毎年莫大なコストを費やしている「更埴中央公園市民プール」を廃止し、信州ブレイブウォリアーズのホームタウン事業である室内プールを併設する練習施設建設に活用できないか。国交省の民間資金等活用事業（PFI）などの手法で、都市公園の質の向上に向けた有効活用を図るべきと考えるが、市の所見を伺う。**

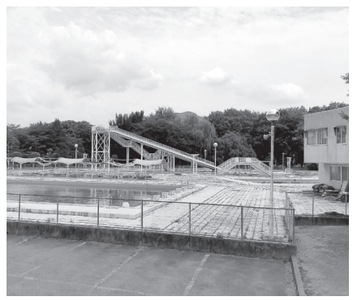
**答**　市民プールの今後については、長寿命化を図りながら活用していく方針に変わりはないが、将来的には公共施設と民間施設などの複合開発も選択肢の一つと考える。

**問　第二次総合計画を前期で終わらせ、第三次計画をあえて策定しようとする小川市長の確固たる将来ビジョンとリーダーシップが見えてこない。市長の描く将来像を具体的に聞きたい。**

**答**　私の目指す千曲市の将来像「文化伝承創造都市」を軸としながらも、市民の意見を聞く中で、共に考え千曲市の将来像を創り上げていきたい。

**問　市民にわかりやすい千曲市の大目標として「人口増」を掲げることを提案する。市長の考えを伺う。**

**答**　まずは人口の社会増を継続させるため、関係人口の創出、移住・定住施策に磨きをかけていく。



▲民間の力を借りて都市公園の有効活用を







滝沢　清人

# 超大型台風襲来時
# ここにいてはダメです

**問　地元で活躍する若者を応援するため、奨学金「肩代わり」返済へ、国の地方創生支援で市の負担分を全額交付税措置する制度と共に、地元企業とタッグを組んで強力に実施すべきだ。**

**答**　市内の人口減少に歯止めをかけ、若者の転入増加が千曲市発展に大きな役割を果たすことから、現在、市が実施している奨学金償還優遇制度（年限度額５万７００円）と共に、地元企業との連携も含めて、更に千曲市にふさわしい支援制度を研究していく。

**問　千曲市がハザードマップにある大水害となるのは、19号台風のようなスーパー台風の襲来。近年の気候変動による亜熱帯化にあっては、スーパー台風の発生確率は高く、まさかの時の避難・備蓄、非常時の備えやマイタイムラインなど、市民への講習方法は。**

**答**　市民への防災意識高揚、防災知識の普及・啓発は大変重要である。改定版防災ガイドブックは、洪水・土砂災害・地震に係る災害リスクをまとめ、地域の危険を再確認するためのもので、今後各地での「出前講座」や「研修会」を積極的に実施していく。

**問　江東５区は、大型台風の上陸予測時、３日前対策本部設置、２日前自主広域避難、１日前広域避難勧告とあるが、市に超非常事態タイムラインはあるか。**

**答**　現在、超非常事態タイムラインはないが、江東５区のタイムラインも参考に、実際の超非常事態発生時には、６万市民の命を守ることは至難の業となるが、そのために頂いた提言も踏まえ、ハード・ソフト共に整えていく。



▲令和２年７月豪雨　熊本県球磨村
洪水は高床式住宅の２階まで



倉島　さやか

# 千曲市の経済成長戦略
# について

**問　名目GDPが22兆円も減少している。今までの経済理論では成功しない。行政は最先端理論をキャッチアップ※し政策として行うことが千曲市最大のブランディング※戦略である。東京一極集中が崩れた今、チャンスをどのように活かすのか。**

**答**　市外県外へ市の魅力を発信するとともにワーケーション事業などを通じて関係人口を増やし、テレワーク設備の環境の整備、企業支援を行う。

**問　政策に投入される資金を将来の経済効果も含めて算定するとき、どのような算出方法を用いて、どのような基準で政策の実施を判断するのか。**

**答**　基本的には国・県のものを活用する状況にある。政策実施の可否を判断するには、様々なデータを分析するとともに、市民要望や諸情勢を踏まえ、効果的なタイミングを計ることが肝要であると考えている。

**問　最先端理論には、今まで見落とされていたデットファイナンスによるマネーストックが重要であるという指摘と、人々の期待形成のバックワードルッキングからフォワードルッキングへの変換が必要であるということがある。新たな政策や総合計画には経済の専門家を活用すべきである。**

**答**　最先端理論のキャッチアップは必要であり、専門家でないと感じ取れない部分もあると思う。予算が限られていることから、専門的な意見・知見も重要であると認識しているが、市民と共に職員の手づくりで作り上げていきたい。

**【その他の質問】**

○デジタル・ディバイド対策について

○公民館や備蓄庫のスマートロック推進について



▲スマートロックは
鍵の解除も、利用予約もスマホから
災害時にも役立つ

※キャッチアップ…追いつく、後れを取り戻すために巻き返しを図る　※ブランディング戦略…ブランドが周りからどのようなイメージを持たれたいかを決め、そのイメージを醸成するための戦略をたてること

# 市議会による『市民と語る会』が開催されました

## ～ 市民と語る会　質問と答弁 ～

東・上山田・戸倉・更級４小学校区での「市民と語る会」概要版（詳細は市議会ＨＰで）

答　担当課へ住民の声を伝えます。
**その後の対応：**上山田で実施事例があります。地域内で相談･協議することを検討いただきたい。

**問　三滝川・沢山川の葦の繁茂が大問題となっている。3/7 の土手焼きまでに葦の対応を早急にしてほしい。**
答　担当課に伝え迅速な対応を求めます。
**その後の対応：**県に要望済み。予算が付き次第対応します。

**問　歴史ある日本一の「森のあんずの里」を後世に残すために市はどうするのか、拠点となる観光会館をどうするのか市の考えを示してほしい。**
答　行政に伝え、委員会としても会館を活用した「あんずの里」を守る施策の研究をしていきます。

**問　寺社仏閣の観光資源化はできないか。**
答　委員会として調査・研究します。
**その後の対応：**観光案内などに出来る限り掲載し、周辺整備を進めます。

**問　交通の要衝である千曲市、ベッドタウン化など様々な制度を作ってはどうか。**
答　人口増に向け議会で議論します。
**その後の対応：**子育て支援策などを更に充実させ、流入人口の増加を推進させていきます。

**問　「あんずの里」維持・発展のために森食品に自社農園として管理をしてもらいたい。市は多方面から援助をしてほしい。**
答　議会としてもご提案を含め「あんずの里」振興の調査･研究を行い行政に提言していきます。




### 東小学校区

**問　公共施設再編計画で「あんずの里観光会館」地元移管について、地元ではとても管理できない。観光施設として今まで通り市で管理できないか。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。
観光会館を継続して、市が維持管理するよう求める請願があり、委員会として現地調査を行います。
**その後の対応：**請願の審査結果は趣旨採択としました。行政には地元と十分な話し合いを求めました。

**問　各種団体の集約、会合の合理化など少子高齢化社会に対応した役員体制にしてほしい。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。
**その後の対応：**委員会としても行政とともに調査・研究していきます。

**問　あんずの里観光会館は防災拠点としても使われている。**
答　**その後の対応：**行政はあんずの里観光会館を緊急避難場所に指定しています。

**問　区長手当を増やしてほしい。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。
**その後の対応：**市は区・自治会の代表者へ行政推進委員を委嘱し、基準に基づき報酬を支払っています。報酬は合併後統一しています。

**問　観龍寺修繕予算 300 万円が未執行です。一刻も早い修繕を実現してほしい。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。
**その後の対応：**令和３年度県補助金300万円が内定、教育委員会も300万円の補助金を付け早期着工の準備をしています。

**問　更埴仏教会と災害協定を結べないか。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。
**その後の対応：**災害協定は申し出を受けて結んでいます。

**問　生涯学習の場として寺社仏閣を利用できないか。**






**その後の対応：**戸倉駅のエレベーター早期設置を図ります。

**問　戸倉上山田温泉の将来ビジョンは。**
答　個々の課題について委員会として協議し、行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求めます。
**その後の対応：**今年度見直される「観光振興計画」の策定において、市民観光関係者の声を活かし戸倉上山田温泉の将来ビジョンをお示しします。

**問　日本遺産活用ビジョン明示を。**
答　個々の課題について委員会として協議し、行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求めます。
**その後の対応：**日本遺産のブランドを活かし市内歴史遺産を広く国内外に発信し、地域活性化や姨捨棚田の景観保全を図ります。新設した「日本遺産推進室」や「日本遺産推進協議会」において関係事業の実施を進めていきます。

**問　書面：耕作放棄地の対策、市の考えは。**
答　委員会で協議していきます。
**その後の対応：**ワイン用ぶどう、山菜栽培、アンズの改植、トルコギキョウの花卉振興などの活用を支援すると共に「食料･農業･農村基本計画」に沿って、多様な立場の方々が農業への理解と関心を高める取組みをより一層進めます。

**問　野良猫問題について、市と協働で取り組んでいるが議会も地域猫活動へのご協力とご理解を。**
答　協力していきます。令和３年度から補助金が500円ずつアップされました。

**問　書面：転倒予防教室は市が運営を。健康寿命延伸に取組む事業所に支援を。高齢者福祉をもっと充実すべき。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。委員会として計画に反映するよう協議・審査を行って行政に要請します。

**問　屋代田圃を「田圃ダム」にできないか。土口水門を嵩上げして本堤と同じ高さにしてほしい。水門に揚水施設はできないか。**
答　ご提案は市及び期成同盟会を通じ県に伝えます。

### 上山田小学校区

**問　新庁舎ができたら旧庁舎廃止は聞いていない。議会も住民が納得できる総合窓口を考えてほしい。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。行政が対応すべきもので、再編計画について住民への再度説明の必要性を質します。
**その後の対応：**丁寧な情報発信は必要と考え、今後も市民への伝え方を工夫することを求めていきます。

**問　議会も上山田の市民の意見を聞いてもらいたい。**
答　議会として、地域の声を聴くために「市民と語る会」を初めて開催しました。ご意見は各委員会で検討し行政に届け、結果は議会報などで報告していきます。

**問　公民館の使用料について、更埴圏、戸倉圏、上山田圏で格差がある。**
答　委員会では、ＨＰ閲覧宣伝ならびに使用料一覧表作成を担当課に要請し課題について調査していきます。
**その後の対応：**使用頻度など考慮し減免の対応は行っていますので利用施設にお問い合わせください。

**問　「区」と「自治会」の統一を。**
答　担当課へ住民の声を伝えます。市民への説明を要請していきます。

**問　屋代の大規模開発は、数字で効果など検証されているか。お金の使い方は市民への情報公開が不十分。**
答　行政に対し市民にわかりやすい説明を更に行なうよう要請します。
**その後の対応：**「屋代地区開発のいま」や「お出かけシェアトーク」などで市民への丁寧な情報開示を行なっていきます。

**問　戸倉駅や姨捨スマートICの整備優先を。**
答　個々の課題について委員会として協議します。行政にはまちづくりのビジョンを明確に示すよう求めていきます。




**問　貧困に苦しむ人は多くいる。市はどう取り組んでいるか。**

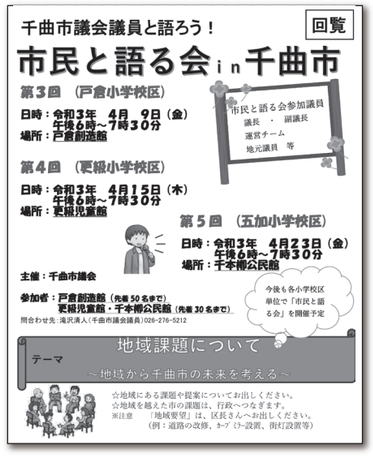
答　福祉施策として生活保護などセーフティーネット施策を講じてきています。行き届いていない現実があれば実態を把握し、具体的行動が必要と考えます。ご意見は行政へ伝えます。

**問　1990年から国内で使用され始めたネオニコチノイド系農薬、海外では使用禁止となっているが使い続けている。農薬使用量に合わせて発達障がいの子どもの数も増えている。千曲市は環境保全農業をもっと支援し農薬を使わない有機食材を学校給食に取り入れていただきたい。**

答　議会では令和元年に「ネオニコチノイド系農薬の規制を求める請願」を受理し、委員会で詳細に審査した結果議会で可決され、千曲市議会として意見書を国へ提出しています。

**問　千曲市しなのの里ゴールドプラン21 老人福祉計画・介護保険事業計画について、医療保険や介護保険を使った機能改善訪問マッサージ等があることを多くの方に知っていただきたい。**

答　訪問マッサージなどの広報や医療機関との連携について行政に伝えます。




**問　市民はネットで行政や市長に直接提案でき、議員に要望もできる。議会は、自主財源増加策や福祉予算確保など知恵を出して提案しなければ存在価値がない。行政に対してチェックだけなのか。市民もネットを通しチェックできる。議員本来の役割が果たせていないのではないか。**

答　市長に個人提案もできますが、個人の意見であり市民を代表した声ではありません。議会は地域や世代・ジェンダーの代表であります。市民から選ばれた議員は、市長や行政全体と意見を戦わせ正しい方向に進むためにチェックし提言していくのが議会の役割と考えます。

**問　戸倉は高齢化が進み空家が非常に目立ってきている。5～10年後老人が庁舎へ行けない状態が増える。行政サービスの悪化をどう考えるか。**

答　高齢化が進むなかで出てくる様々な課題について、今後もしっかり検討していきます。

**問　コロナ禍のなか市は注意喚起が足りないのではないか。**

答　コロナ対策は、よく対応していると感じます。市長もケーブルテレビで注意喚起をしています。車での広報も回っており、ワクチン接種も必死に取り組んでいます。今後も更なる施策を委員会でも求めていきます。

## 更級小学校区

**問　屋代の大規模開発について、今後の開発計画のスタンスは。**

答　大型商業施設を中心に35haを開発というものでした。ところがコロナ禍もあり社会環境は大きく変わりました。ネット通販が増え企業側も立ち止まる中、行政も発想を変え商業・工業など多角的に誘致をしていくことに変えました。それにはまず道路をつくり、インフラを整えようとしています。進出企業の候補はいくつかあるが具体的にはこれからです。

**問　千曲川の護岸工事はやっているが肝心の工事が進んでいない。今後は。**

答　河床掘削は、令和６年を目指して下流から進めています。行政はできるだけ早く進めてほしいと要望しています。委員会としても対応していきます。






**③議会では「総合計画及び創生戦略に関する特別委員会」が設置された。設置の議論の経過は。また標準財政規模を維持するため人口減を抑えプラスに転じる施策が求められる。人口増を図る施策について議論を重ねてほしい。**

答　①新市長がどういう思いを込めた計画にするのか、議会では３月議会で特別委員会を設置し１年かけてチェックしていきます。
②第二次教育振興基本計画は、総務文教常任委員会でチェックしていきます。
③議会の議決が必要な計画で、そのため議長を除く全議員で特別委員会を設置しました。委員会では合併特例債の返済が始まり財政逼迫が懸念されるため、まず第二次総合計画前期計画の検証をします。また自治体のデジタル化が速く進み、従来の10年か５年計画にするか研究します。また標準財政規模では『自主財源を増やすには人口増を図るべき』はもっともであり、若者が市内に定着できる環境や安心して子育てできる環境を継続的に整えることを提言していきます。

**問　平成27年度「千曲市家庭教育支援条例」が議員立法で制定された。この条例には国や県の上位法はない。他の自治体にもほとんどないが条例制定の経緯は。**

答　平成27年に議員から提案され、策定委員会が先進地の条例研究を行いました。教育分野のほか保育・人権・男女共同参画・地域の関わり等幅広い分野から家庭教育支援について調査研究を行い、議論は拮抗したが最終的には多数決で可決されました。

**問　県道森篠ノ井線延伸について、今のルートは実現不可能で期成同盟会は辞めた方がよい（解散）。千曲市の持っている資源、地域と行政の関わりを具体的に検討して総合計画の理念として活用してほしい。**

答　今後、委員会としてしっかり審査していきます。

## 戸倉小学校区

**問　市報１月号から令和元年度決算について、**
**①経常収支比率の硬直化。**
**②財政力指数は19市中14番目。**
**③積立金残高比率が74%超で有効な事業が実施されていない。**
**④地方債残高比率が199%になっている。**
**⑤将来負担比率 49.2%は県内15番目。５点について議会の見解は。**

答　①硬直化は進んでいます。だからこそ行政改革を進めなければなりません。その一つに公共施設再編計画が進められています。
②自主財源増へ、企業誘致や人口増加策として、インフラ整備による流入人口増や農地を整備し産業団地に企業を誘致していくなど、固定資産税増や労働人口増で市税を増やしています。行革との両立で財政力指数を上げていきます。
③基金は条例によって目的別に積み立てすべて自由に使えるわけではありません。将来必要な事業のために積んでおり必要に応じて使っていきます。
④⑤財政健全化の点で他市に比べて悪いということですが、合併特例債を冠着橋の架替えや白鳥園の建替え、市道千曲線の整備、東小学校や戸上中学校の改築、新庁舎建設など大事業に集中的に使ってきました。今は返済が始まり、ここ２年くらいがピークです。数字的には悪くなるが徐々に改善されていきます。今後は、築50年を超えた保育園の建替えも必要事業として進めます。一気に改善することはなく、山あり谷ありは続きますが行政がコントロールしていきます。

**問　①第三次千曲市総合計画の策定は、市長が代わったためと考えるが第二次総合計画前期との関連をどう考えるか。**
**②第二次総合計画に基づき、第二次教育振興基本計画が令和元年にスタートしている。今後どうなるのか。**



# 9月定例会予定

【８月】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 30日 | (月) | 本会議 | 開会 |

【９月】

| | | | |
|---|---|---|---|
| ６日 | (月) | 本会議 | 一般質問(個人) |
| ７日 | (火) | 本会議 | 一般質問(個人) |
| ８日 | (水) | 本会議 | 一般質問(個人)<br>議案審議 |
| ９日 | (木) | 委員会 | 総務文教常任委員会 |
| 10日 | (金) | 委員会 | 福祉環境常任委員会 |
| 13日 | (月) | 委員会 | 建設経済常任委員会 |
| 16日 | (木) | 本会議 | 委員長報告・討論<br>採決・閉会 |

※議事の都合により、日程が変更される場合がありますのでご了承ください。

### 議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます。傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から感染拡大防止対策を実施しております。詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



今月号の表紙は……

### 接種バスでワクチン接種

千曲市では会場に行くことが難しい人のために、２台のバスで巡回接種を行いました。

「予約がなかなか取れなかった。一週間電話してようやく。もっと予約の仕方を工夫して欲しかったね。でもこれで安心だ。」と言って、２回目の接種をされていた芝原の近藤光威さん。





# 議会日誌

３月定例会終了後から７月臨時会までの議会活動の紹介です。

## ４月

９日　議会広報特別委員会
15日　議会広報特別委員会
16日　福祉環境常任委員会
　　射水市長表敬訪問
　　長野広域連合議会運営委員会
19日　総務文教常任委員会
20日　総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
　　北信越市議会議長会定期総会（書面議決）
26日　建設経済常任委員会
　　長野広域連合議会臨時会

## ５月

11日　議会運営委員会
17日　福祉環境常任委員会
20日　総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
　　研修会
26日　全国市議会議長会定期総会（書面議決）
31日　議会運営委員会
　　議会広報特別委員会

## ６月

２日　タブレット端末操作研修会
７日　令和３年第３回（６月）千曲市議会定例会
　　開会
14日　議会運営委員会
　　一般質問（個人）
15日　一般質問（個人）
16日　一般質問（個人）・議案審議
17日　総務文教常任委員会
18日　福祉環境常任委員会
21日　建設経済常任委員会
24日　議会運営委員会
　　令和３年第３回（６月）千曲市議会定例会
　　閉会
25日　議会運営委員会

## ７月

１日　総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
　　研修会
６日　議会全員協議会
　　令和３年第４回（７月）千曲市議会臨時会



# 市民の声

「議会・市政に関すること」をテーマに寄稿いただきました。



山口　盛男さん
（桑原）

## 振り向かないで前を見て進もう

川西地区振興連絡協議会は「行政又は誰かがやるだろうではなく自分達から行動をおこそう」を行動目標に発足して14年になります。コロナ禍後を見据えて、先人の生きた証を学び役立ちたいと思っております。当面の行動目標は日本遺産認定に伴ってその構成文化財群である善光寺道の更なる整備、小坂城址、篠山遊歩道周辺里山整備、防災道の駅を国道バイパス沿いへの誘致であります。今後急激に進む少子高齢化を迎える中、自助・共助を共通の合言葉に自らの生き甲斐を追求し、公助をセフティガードと受け止めて明るく楽しい健康的な人生を送りたいものです。



澤田　和也さん
（屋代）

## ありがとうございます

２年前に小学校のＰＴＡ会長として、市の第２期子ども子育て支援事業計画を策定する会議に参加させて頂きました。話し合われた内容に行政がすぐに対応する真剣な姿を間近で見ることが出来、本当に感動しました。

戦時中、東京の養護学校の疎開先に手を挙げた上山田が地域をあげて多くの肢体不自由児を守った歴史が、ここ千曲市にはあります。その精神が評判の良い福祉政策に今でも流れていると感じます。

これからもより良い市政をよろしくお願い致します。

## 議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！

お気軽にご意見をお寄せください。




議会だよりお読みいただきありがとうございます。

本会議の詳しい内容をお読みになりたい場合には、市議会ホームページから、「千曲市議会会議録検索システム」をご覧ください。本会議でのすべての記録が記されています。

## 編　集　後　記

新型コロナのワクチン接種が進んでいます。ネットでは様々な情報が飛び交っていますが、中には根拠のないものも含まれているようです。接種することのデメリットより、接種するメリットの方がはるかに大きい、とも言われています。複数の情報を比較し悔いの残らない判断をしたいものです。

（中村　恒彦）


## 議会広報特別委員

| | |
|---|---|
| 委員長 | 滝沢　清人 |
| 副委員長 | 飯島　孝 |
| 委員 | 北川原　晃 |
| | 吉池　明彦 |
| | 中村　恒彦 |
| | 宮下　繁明 |
| | 田中　秀樹 |
| | 林　慶太郎 |



千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会　TEL 026－272－0199（直通）　FAX 026－272－0765
ホームページ　http://www.city.chikuma.lg.jp　　E-mail：gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議会議長　和田英幸　　編集／議会広報特別委員会
印刷／寺沢印刷（千曲市大字八幡 2069 番地 7）

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙（古紙配合率 70%）を使用しています。